

# 性能

## 1 許容仕事

摩擦形クラッチ・ブレーキで負荷を起動・停止する場合、連結及び制動の過渡時に摩擦面がスリップ状態となり、摩擦仕事に応じた摩擦熱を発生します。この摩擦熱がクラッチ・ブレーキの熱放散能力を超えると異常摩耗を生じたり、摩擦面が変形した

り焼付いたりして使用不能になります。

クラッチ・ブレーキに許容し得る摩擦仕事の限界値を許容仕事といい、図1に示します。高速・重負荷や使用頻度の高い場合は、選定時に充分検討しておく必要があります。

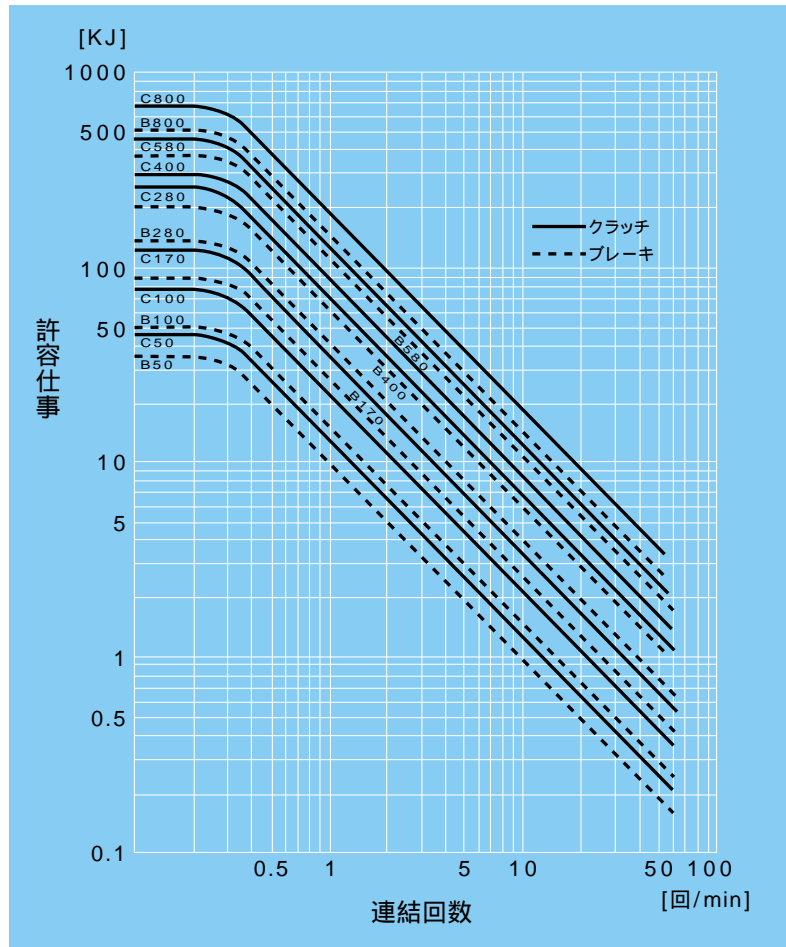


図1

## 2 摩擦板の摩耗限度

表1

形番	クラッチ		ブレーキ	
	許容摩耗代 [mm]	許容摩耗体積 [cm <sup>3</sup> ]	許容摩耗代 [mm]	許容摩耗体積 [cm <sup>3</sup> ]
ACSB 50	3.7	55	2.8	55
ACSB 100	3.7	80	2.8	80
ACSB 170	3.7	125	2.8	125
ACSB 280	4.3	200	3.5	200
ACSB 400	5.3	310	4.2	310
ACSB 580	6.7	510	5.3	510
ACSB 800	8.0	750	6.0	750